

# 会議議事録

1 会議名	令和6年度 第5回阿賀町総合計画審議会				
2 開催日時	令和7年2月19日(水) 午後2時00分(終了:午後3時35分)				
3 開催場所	阿賀町公民館講堂				
4 出席者名	穴戸委員、横山委員、羽賀委員、田中委員、長谷川委員、清野委員、青木委員、齋藤准奈委員、石川英理香委員、清田委員、齋藤望委員、廣瀬委員、渡部委員、野瀧委員、猪俣委員、増川委員、石川美智子委員、田実委員、石川千春委員				
5 議事	1) 第3次阿賀町総合計画(案)に関するご意見等について 2) 第3次阿賀町総合計画(案)について 3) パブリックコメントの状況について				
6 傍聴の可否	傍聴可能	傍聴不可の場合は その理由	/	傍聴者数	1名
7 審議の内容	<p>1.開会 事務局</p> <p>令和6年度第5回阿賀町総合計画審議会を開催いたします。 委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中ご出席いただきましてありがとうございます。本日も、皆様にお配りしております資料に従いまして進めさせていただきます。 なお、今回の審議会につきましても、議事録作成のため録音させていただきますので、よろしくお願いいたします。 それでは、初めに穴戸会長よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>2.会長あいさつ 会長(穴戸委員)</p> <p>皆さんこんにちは。本日、第5回目を数えました審議会でございます。ご条件ですと、今回が今年度最後の審議会ということになるかと存じます。皆様、お忙しいところお集まりくださりましてありがとうございます。 事務局からもお話がございました通り、この第3次総合計画に関するご意見、あるいは皆さんからいただいたご意見を踏まえた計画案の反映といったことについて、事務局から説明を求めまして、それを元にしてまた委員の皆様からご審議をいただきたいと思います。 また併せてですね、次第でもございましたパブリックコメント、これにつきましても、実施状況の説明を受けまして、作成の方を進めてまいりたいと思います。 本日も皆様から活発なご意見などを賜りますよう、よろしくお願いいたします。</p>				

配布資料・会議成立の確認

3.議事 1) 審議会委員 からの主なご意見等について	それでは、議事に移りたいと思います。次第の 1)第3次阿賀町総合計画に関するご意見等について、事務局より説明をお願いします。  (事務局より資料1に基づき説明)
会長(穴戸委員)	はい、ありがとうございました。この資料につきましては事前に皆様にお届けして、特に意見を出された委員に関しましては、自分の意見が通ったかどうかというところをあらかじめご覧いただけたと思いますが、いかがでございましょうか。この資料1につきまして、ご質問やご意見ございませんでしょうか。
齋藤望委員	間違いの訂正ですが、計画修正に関するご意見のところの23番、46ページですが、「3番に集約化しました。」と書いてありますが、4番になっています。
会長(穴戸委員)	申し訳ございません。委員ご指摘の通りでございます。そこは事務局、反省して修正しといてください。この冊子の46ページですね。これを3番に直してください。 ありがとうございます。続きまして、委員の皆様から、ご指摘・ご意見・ご質問などございませんでしょうか。
石川委員	98ページの告知端末のところですが、告知端末「に」代わるの「に」が入っていないと思うのですが。
事務局	大変申し訳ありません。文言や番号等ですね、今最終的に見直しをしてる最中でありまして、ところどころにおかしな表現があったり、文面がおかしかったりすることがあります。それにつきましては、内容が固まり次第、もう一度精査いたしまして修正をいたしますので、本日はこの内容でよろしくお願ひしたいと思いますのでよろしくお願いいたします。
会長(穴戸委員)	文言修正は本来委員にやらせる仕事ではございません。そのための事務局ですので、しっかりと事務局は真剣勝負の気構えを持って文言の修正をするよう強く申し入れておきます。 続きまして、委員の皆さんいかがでしょうか。それではただ今の資料1に基づく説明としましては以上の通りとさせていただきます。 続きまして、次第2)総合計画(案)、こちらで全体の議論をしたいと思ひますので、早速ではございますが、そちらに移らせていただきたいと思います。 それでは、資料2について事務局より説明をお願いします。

	(事務局より資料2に基づき説明)
会長(宍戸委員)	はい、ありがとうございました。ただいま事務局から説明ございましたが、資料が分厚いので、ページごとに区切って委員の皆様からご意見を承りたいと思います。まず第1部基本構想、具体的には2ページから36ページでございます。何かご意見等ございますでしょうか。
石川委員	7ページの「阿賀町の現状」のところ、「阿賀町」で始まっていますが、次の9ページのところに行くと、「本町」となっていますが、そこは統一しなくても良いのかなと気になりました。
事務局	はい、大変申し訳ありません。この件もですね、先ほど申し上げた通り、「阿賀町」であったり「本町」であったり「当町」となっていたりというところがかかりでてきますので、その辺は修正させていただきたいと思いますので、お願いいたします。
会長(宍戸委員)	<p>文言の統一は、ワードを使っていると思いますので、検索機能及び置換機能ができると思いますので、それを駆使して統一していただきたいと思います。</p> <p>それでは続きまして第2部の前期基本計画です。そのうち、最初の37ページから44ページ、デジタル田園都市構想総合戦略との関連性などいろいろと記載がございますが、特に何かお気づきの点などございませんでしょうか。ないようでしたら基本目標は8つございますので、1つ1つ見ていきたいと思います。まず基本目標1「豊かな自然環境の保全と地域資源活用のサイクルを推進する」具体的には45ページから50ページになります。いかがでしょうか。</p>
羽賀委員	<p>45ページに「未来に残せる森づくり」ということで施策があって、数値目標として3つございますが、そのなかで「素材生産量」があります。</p> <p>この施策は、どちらかという自然環境の保全を目的に適切な森林管理を行うことが必要ということで理解していますが、その施策の数値目標に「素材生産量」がでてくるのは違和感があります。林業で主伐や間伐によってこの素材を生産することによって、主伐後に再造林されたり、間伐によって残した樹木の適切な育成に繋げて森林の適正管理に資するというので、おそらく「素材生産量」という数値目標を挙げたと思いますが、ここは自然環境の保全なので、どちらかという「素材生産量」に着目するのではなく、生産をするために必要となる森林の整備面積といったものが、これだけの素材生産をするためにはこれだけのその森林面積が必要だというのはリンクしていると思うので、量にこだわりのではなくて、面積にこだわって「森林整備面積」を数値目標にした方が良いと思いましたので、意見として申し伝えます。</p>

会長(宍戸委員)	ありがとうございます。「未来に残せる森づくり」というのはまさに保全目的なのに、「素材生産量」を増やすことで、どうやって未来に残せる森林になるのかというロジックですね。理屈はどうなっているのでしょうか。これは私から追加して質問です。
事務局	こちらは63ページの下段の丸3番の事業が基本目標1にありまして、これに関連する数値目標として素材生産量が掲げられておりましたが、63ページに施策があって、64ページでも素材生産量が出ておりまして、64ページの方が正しくて、基本目標1の数値目標がまだ残っていた状態でしたので削除したいと思います。
会長(宍戸委員)	続きまして基本目標2「未来を拓く人を育み、文化・スポーツを通じた豊かな生活を実現する」、51ページから60ページです。いかがでございましょうか。
石川英理香委員	55ページに、「阿賀黎明高等学校新入学者数」、現状値20人、目標値28人とございますが、28人の根拠を教えてください。今は定数が40人です。これは2030年に28人になるということなのでしょう。そういう情報があったんでしょうか。たった今、高校についての10年後の構想が新聞には出ていますけれども、28人いれば高校が存続するという数字なのですか。この28人という根拠をしていきたい。私としては、20人もコミュニティスクールとしてしっかり成り立ちますし、事業内容も非常に素晴らしいと思うので、20人も高校としては十分ではないかと私は考えておりますが、なぜ28人なのでしょう。
会長(宍戸委員)	いかがでございましょうか。先ほど数字が変わると事務局から説明がありましたが併せてもう一度ご説明をお願いします。
事務局	まさにおっしゃった通りで、修正前は新入学者数の数値目標で現状値20人に対して目標値が20人でしたが、高校の定員数は現在40人のところで20人を目指すというのが適正かというところで、事務局で議論がありまして、目標値を20から増やすか、みらい留学者数、寮が10名定員なので、そこ精一杯10名入学者数を確保するんだというような目標の方が適切ではないかということで、現状記載の方が新入学者数になっておりますが、これは未来留学者数10名を維持するというような目標値で修正の方を図りたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
石川英理香委員	分かりました。みらい留学生は恐らく町外からの入学希望者だと思いますので、阿賀町からは8名いれば十分という理解でよろしいでしょう。
会長(宍戸委員)	「みらい留学制度の推進」は主な取組にありますので、確かにみらい入学者数

会長(宍戸委員)	<p>を書くのは間違いではないと思います。ただ、敢えてその新入学者数を取り下げた。先ほど事務局の中で議論があったとおっしゃいました。その時にどういった議論があったんですか。</p>
事務局	<p>総合計画に記載されている施策とリンクすると思いますが、施策としてはみらい留学制度の推進と、阿賀黎明高等学校入学者の全国募集というところで施策が記載されておりますので、その施策にふさわしい指標としては、みらい留学者数を10名維持するがふさわしいのではないかとというような結論で修正をする予定でございます。</p> <p>もちろん既存の町内の入学者数を増やすということも非常に大切ですが、この施策とリンクする数値目標としては、みらい留学者数が適切ではないかというような結論から、その数値目標の設定に至ったというところでございます。</p>
会長(宍戸委員)	<p>みらい留学制度の充実をまずは図っていこうと。最終的には阿賀黎明高等学校の維持存続に結びついていくと受け止めましたがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>現状と課題のところでも記載しておりますが、全国から留学生を募集しながら、かつ地元中学生から進学先として選択してもらえるような魅力化を図るところも合わせてやっていく必要があると思いますので、現状ではその数値目標を設定したところでございます。</p>
会長(宍戸委員)	<p>確かに伺いますと、阿賀黎明高等学校入学者数を増やすのは具体的には県立高校なので県の仕事ですよね。一方で、みらい留学制度の運用は町ですよね。となると、町として行うみらい留学制度の方がむしろ町の総合計画の数値目標には相応しいのではないかと考え方あると思えたのですがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>会長おっしゃられる通り、町としてできごととして、魅力化の推進をしていこうというところでこの目標値に設定したというところでございます。</p>
会長(宍戸委員)	<p>分かりました。ありがとうございます。</p>
田実委員	<p>先ほど修正いただいた指標名「阿賀黎明高等学校新入学者数」を現状値20人、目標値28人にしたところで、この28人はみらい留学生のトータル3に合わせた目標値28人と理解してよろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>数値目標は新入学者数になっているところをみらい留学者数に変更して、おそらく現状値8人だったかと思うんですけど目標値、年10人にする、寮の定員数まで引き上げるということで数値目標の設定しております。</p>

田実委員	<p>ちょうど寮の定員が 28 人なんです。それもあってこの 28 人に修正したのかなと思いましたが。町外から来たみらい留学生の数 28 人が目標値になるのかなと思いましたが。</p>
会長(宍戸委員)	<p>確かにこの 28 人は取り下げる数値ではありますけど、28 人の根拠を教えてくださいなというものがございます。</p>
事務局	<p>みらい留学制度の寮の生徒の数で、単位が「人/年」になっておりますが、指標名が新入学者数となっております。毎年毎年 28 人ではないということです。指標名、単位、目標値についてずれが生じているところがありまして、寮の生徒の数ということになります。そうしますと、阿賀黎明高等学校入学者数は目標値の 28 人/年ではなく、28 人ということで目標数を設定したということになります。みらい留学制度は国の補助金を使っておりまして、そこで定めている目標値がありまして、その数値を運用しているような形になっておりますので、28 人となったということになります。</p>
石川千春委員	<p>58～59 ページのところの数値目標として「体育施設利用者数」がどちらにも出てきておりますが、他の施策を見てみると、施策の展開で「5.運動習慣づくりの推進、町民の健康増進」というところと、「6.体育施設の継続的な集約化と改修」で分かれています。数値目標はまとめて記載してるところもあるので、ここは 5 と 6 の数値目標として、6 の後に体育施設利用者数と漕艇場利用者数で良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。</p>
会長(宍戸委員)	<p>再掲的な意味合いだと思います。そういう意味で両方載せているところはあるにではないかなと思います。</p>
石川千春委員	<p>6 の「集約化と改修」というところで、「体育施設利用者数」や「漕艇場利用者数」がちょっと違うようなところも感じまして、まとめた方がいいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>5 と 6 の施策の関係になりますけれども、6 の方で体育施設の計画的な集約化と改修となっております。そこで利用人数が出てくるのもどうかかなというご意見だと思います。</p> <p>本来でありましたら、体育施設がいくつかあって、老朽化した施設がいくつかあるので、それを集約しますとか、そういったものが目標値にふさわしいのではないかと考えますので、その辺は 5 と 6 をまとめるかどうか、もう少し事務局の方で検討させていただきたいと思っておりますのでお願いいたします。</p>
会長(宍戸委員)	<p>ご指摘ありがとうございました。続きまして基本目標 3「若者が夢と希望を持</p>

会長(宍戸委員)	<p>って働くことができる産業の振興を図る」61 ページから 68 ページのところまでございます。</p>
清野委員	<p>62 ページの「現状と課題」の3つ目の○で「農林水産業はいわゆる 3K5K と言われる厳しい労働条件」とありますけれども、分かる人は分かると思うんですけど、分からない人は分からないと思います。もう少し易しい言葉で表現した方が良いと思います。</p> <p>その下の「施策の展開」真ん中あたりで、小規模農家（半農半X）とありますが、「半農半X」って何かなと思いました。</p> <p>63 ページを見ますと、例えば上のほうで「A 材」と呼ばれる「良材の生産量」と、このように優しく書いてあります。その下にも川上（素材生産）、川中（木材加工）、川下（利用）と優しく書いてあります。こういう書き方をした方が良いのではないかと思いますがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。ご指摘いただいた通り、分かりづらい部分があるかと思しますので、こちら解説を入れるか、分かりやすい表現に修正したいと思います。</p>
猪俣委員	<p>66 ページをお願いします。先ほどの事務局の説明のなかで、工事の発注率や平準化率を入れていただきまして大変ありがとうございました。</p> <p>全体的な質問なのですが、目標値の中で「向上させる」とか「維持する」という記載がありますが、5 年後に前期基本計画が終わったって振り返りをするときに、評価するためにこの数値目標を導入してと思うのですが、例えば工事の発注率とか平準化率等は年ごとに変わっていくと思います。発注率を維持する年もある年あれば維持できない年もあると思いますし、5 年後、評価するタイミングその年だけで評価をするのか、それとも 5 年間それぞれ見ていながら評価をするのか、その評価の仕方みたいのをちょっと教えていただきたいと思います。</p>
会長(宍戸委員)	<p>例えば 5 年後の瞬間風速で見るとか、それとも前期 5 年間の平均で見るとかですね。5 年間平均で n パーセントっていう評価もあるのではないかというお考えでしょうか。</p>
事務局	<p>工事発注率や平準化率、町内業者の発注率につきましては、今言われた通り、毎年評価して増加したり減少したりすることが想定されます。</p> <p>総合計画につきましては、毎年 8 月に検証を行っていきます。その段階での前年の数値などで評価をしていくようなこととなります。また 5 年後の前期計画終期における評価につきましては、毎年の評価を重ねていったうえで、平均は出せるとは思います。平均を出したところでどうなのかという議論もありますので、また評価する段階で検討させていただきたいと思っております。</p>

猪俣委員	<p>ありがとうございます。建設業界だけではなくて、みらい留学者数など同じことだと思います。せつかくこのような目標値を入れて、皆さんその数値に対してこだわりをもってやってきたので、最終的には阿賀町が良くなるためというか、5年後評価して良かったのか悪かったのかということの評価するために今やっているとあるので、数値目標の測り方については整理しておいた方が良いと思います。</p>
会長(穴戸委員)	<p>ご指摘ありがとうございます。続いていかがでしょうか。</p>
齋藤望委員	<p>先般の農業委員会など関係団体などが集まって行った意見交換会の話合いのなかで、施策の1つに退職者の農業就農を促進してもらいたいという意見と、販売の方法を町も積極的に関与して販売していただきたいという意見が1番大きい意見だったと思いますが、今回の計画のなかには反映されていなかったの、ちょっと残念と思っておりますがこの辺課長いかがでしょうか。</p>
農林課長補佐	<p>退職者の就農促進の関係ですが、先般農業委員会も含めた会議のなかでお話しはあったかと思いますが、これにつきましては、ご意見としまして検討させていただきたいと考えております。</p> <p>販売の方法を町でということですが、去年の11月に横浜でお米のPRに行っております。そこで農業公社も同席していただいて、バイヤーとうまくマッチングして販売を促進するといった取り組みをしておりますので、検討事項ということでお願いいたします。</p>
齋藤望委員	<p>検討中ということで、推進していきたいという前向きな考えがあるということで判断してよろしいでしょうか。</p>
農林課長補佐	<p>はい、前向きに検討させていただきます。</p>
会長(穴戸委員)	<p>総合計画には掲げないけれども、町としては前向きに進めると。ひっくり返して言えば、総合計画にかけることまだ熟しきれてないと私は解釈しました。</p> <p>そういった考えでよろしいでしょうか。</p>
農林課長補佐	<p>はい、その考えでよろしいです。よろしく申し上げます。</p>
会長(穴戸委員)	<p>次に基本目標4「出産子育ての希望を叶える支援の充実を図る」、具体的には69ページから73ページあります。</p> <p>何かお気づきの点などございますでしょうか。</p>



石川千春委員	<p>70 ページと 71 ページになります。</p> <p>○5 の「保育サービスの充実を図ります」の 2 つ目のポツのところで、「育児負担や母親のリフレッシュのための運用も可能とし」のところで、「母親」という言葉が出てきます。また、次の 71 ページの「2.母子保健の推進」の「現状と課題」の○3、「乳幼児健診は、発育発達の確認や保健診療の機会であると同時に対面で母親の思いや」のところで「母親」が出てきます。この「母親」という表現が、子育てが母親だけのものという印象を受け、少しひっかかるのですが、言い回しをもう少し考えていただきたいと思うのですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>今の時代、子育ては母親に限らず父親、両親でという社会の流れになっておりますので、表現を替えさせていただきますが、「2. 母子保健の推進」は元々の施策の標記とさせてもらっているところであります。その他の表現については修正をさせていただきますのでよろしく申し上げます。</p>
会長(穴戸委員)	<p>それでは次に移らせていただきます。基本目標 5 でございます。</p> <p>具体的には、74 ページから 79 ページでございます。</p> <p>「誰もが健康で思いやりのある生活ができる体制を整備する」福祉・介護などについてでございます。これにつきまして、ご意見などございませんでしょうか。</p>
事務局	<p>先ほど資料 2 の説明で、基本目標の目標名を変えとお伝えしましたが、誰もが健康で思いやりのある生活ができる体制を「整備する」を「推進する」に修正させていただこうと思います。推進がいいかどうかも含めて再検討させていただきます。</p>
会長(穴戸委員)	<p>確かに「体制を整備する」だと今まで何もない、体制がないと、それを作り上げるといった意味合いが多いですね。</p> <p>次に移らせていただきます。基本目標 6「安全・安心な暮らしを確保する」、具体的に 80 ページから 92 ページでございます。</p> <p>このことにつきまして、何かお気づきの点などございますでしょうか。</p>
羽賀委員	<p>82 ページになります。3 番で、「阿賀野川水系阿賀野川圏域河川整備計画」という施策があって、色々資料を見させていただきますと、ここだけ数値目標がないです。確かに中身は私もよく存じてますが、数値目標を立てづらい中身なので、そうであれば「2.災害につよいまちづくり」に入れた方が良いのではないかと思います。あえてこれを単独で出すことは何か意図があるのか、もしお考えがあるようであればお聞かせ願いたいです。</p>
事務局	<p>はい。ご指摘の通り、数値目標がない施策であります。阿賀野川の河川整備計画ですが、ここでは集団移転を検討しますと 1 点だけとなっております。</p>

事務局	<p>その辺の表記につきましても、河川改修にはまだまだ堤防の整備など色々ありますので、その辺も含めた形で、「災害に強いまちづくり」などに含めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p> <p>これを特に抜き出したということにつきましては、「集団移転」という言葉がありまして、これは大きな事業であろうというところで抜き出して書いたものでございますが、内容につきましてはあくまでも河川改修事業に触れているところもありますので、その辺をもう一度考えて修正をさせていただきたいと思っております。</p> <p>これをもしも抜き出して書くのであれば、堤防工事とかですね、そういう風な河川改修も含めて記載をさせていただくような形でよろしいでしょうか。</p>
羽賀委員	<p>はい、その部分になるとうちの事務所絡んでますので、そこは事前に調整いただければと思います。単独でもしここで抜き出すのであれば、81ページの「2. 災害に強いまちづくり」の現状課題の1番下、「河川整備計画外の住民からの出水時について不安～」のところで、そこに数値目標で「河川の除草面積」があると思っておりますが、これを切り出して阿賀野川の河川整備計画と一緒にして、施策のタイトルを「阿賀野川水系の流域治水対策」などに名前変えてやれば数値目標も河川の除草面積として出てくるので、そういうまとめ方も良いのではないかと思ったので、検討していただければと思います。</p>
会長（穴戸委員）	<p>関連してお伺いしますが、この82ページの1番下に関連計画で「阿賀野川圏域河川整備計画」とあります。この計画を策定する主体はどこですか。</p>
羽賀委員	<p>県です。</p>
会長（穴戸委員）	<p>県計画に基づいて行われる事業、県事業である改修事業。集団移転を促す主体はどこになりますか。</p>
羽賀委員	<p>主体は町です。我々もそこは連携して行います。</p>
会長（穴戸委員）	<p>羽賀委員からのご提案も踏まえて検討してください。お願いします。続きまして、委員の皆さん、いかがでございましょうか。</p>
田実委員	<p>数値目標がないということで戻ってしまって恐縮ですが、74ページの「1. 高齢者福祉の充実」で除雪ボランティア団体の整備というところで数値目標がないように思うのですがいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>申し訳ありません。ここにつきましては、現在の除雪ボランティア団体は組織されておりませんが、目標値につきましては1もしくは2とかですね、そのような記載をさせていただきたいと思っております。</p>

<p>会長(穴戸委員)</p>	<p>ご指摘ありがとうございます。続きまして他、いかがでございましょう。</p> <p>それでは続きまして、基本目標 7「多様な人材の活躍推進と新しい人の流れをつくる」、具体的には 93 ページから 97 ページでございます。何かお気づきの点などございますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">意見なし</p>
<p>会長(穴戸委員)</p>	<p>それでは最後になりますが、基本目標 8「デジタル技術活用による地域課題の解決と誰一人取り残さないまちづくりを推進する」、具体的には 98 ページから 107 ページでございます。この箇所につきまして、何かお気づきの点などございますでしょうか。</p>
<p>横山委員</p>	<p>数値目標に関してです。99 ページの数値目標と 101 ページの数値目標です。おそらくこの辺は年度によって全体の数値が増減するのではないかと考えておりました。例えばキャッシュレス決済でも町のもので増えたり減ったりすると思います。同じく 101 ページの電子申請システムも、国の都合により申請できる手続きが増えたり、業務自体がなくなったりというので、100 のパーセントの数字が変わったりする可能性が非常に高いと考えております。そもそも全体が何個あって 100%になるのかがよく分からない数字でもあるので、この辺の記載をパーセント付け数字は現状何かとか、そういう記載をした方がより分かりやすいのではないかと考えてお話をさせていただきました。</p> <p>電子申請システム手続き数がそもそも全部で何個あって何パーセントになるのか、ほとんど誰も分からないと思います。目標が高いのか低いのか全然分からないと思って、他に分かりやすい指標にするか、全体数が分かるようなやり方をさせていただいた方がよろしいのではないかと意見させていただきます。</p>
<p>事務局</p>	<p>全体の数が増減するものもありますので、分かりづらいと感じます。</p> <p>現在電子申請システムで手続きできる数が相当ありまして、阿賀町で電子申請ができる数は 17 となっております。それを 50 まで引き上げようということですが、全体がかなりの数になっております。この数値が果たして高いのか低いのかというのが分からないところもありますので、今ほどご指摘のありました通り、何件あって何パーセントにするなどの表記の方が分かりやすいということもありますので、この辺はもう一度考えさせていただきます。お願いいたします。</p>
<p>会長(穴戸委員)</p>	<p>ありがとうございます。ただ今横山委員からご指摘があったところでございます。続きまして、いかがでございましてでしょうか。</p> <p>それでは全体を通じて何かお聞きの点などございますでしょうか。</p>
<p>清野委員</p>	<p>先ほど津川地区振興事務所の羽賀委員からお話しがありました河川整備計画</p>

清野委員	<p>ですけれども、この計画全体を通したなかで、関連計画というのがあります。</p> <p>例えば障害福祉計画やDX推進計画とか、そういった計画は現在もすでに策定されているものなのでしょうか。それとも、まだこれからというものもあるのでしょうか。その辺お聞かせいただきたいと思います。</p>
事務局	<p>個別計画と言われるものになりますが、今ほど言われましたDX推進計画や福祉計画、子ども計画などございますけれども、それらについては現在策定済みでありまして、計画通りが進行しているというようなところであります。</p> <p>よく議論になるところは、総合計画ができたなら個別計画を見直さなくてもいいのかというご意見をいただきます。</p> <p>阿賀町としては、総合計画を作るにあたって個別計画の方を反映させておりますので、個別計画はそのままというところで、期間のズレは生じますが、そのような考えで動いております。</p>
清野委員	<p>ここに書いてある計画は今全てがあると捉えてよろしいんですね。はい、ありがとうございます。</p>
会長(穴戸委員)	<p>確かに総合計画は位置付けとしては各個別計画の上位計画でありますので、そこは上位計画を踏まえて個別計画が作られるという考え方でありまして、そこは全体である総合計画と個別での個別計画とは、うまくそこは不足が生じたらいけませんのでそこはうまく調整を取ってるってことです。はい、ありがとうございます。</p>
田実委員	<p>全体を通してというところで参考までに教えていただきたいのですが、総合計画に紐づく実施計画がそれぞれあって、事業費が今仮かもしれませんが、紐付けられて計上されています。この総額は町の予算のなかでどれくらいの割合を占めているのでしょうか。参考までに教えていただきたいと思います。</p>
事務局	<p>実施計画の事業費の合計というのが今用意している資料がありませんが、町の今年度の予算は130億円程度になる見込みでありますので、実施計画のところで割り返していただければ試算できるのではないかと思います。</p>
会長(穴戸委員)	<p>他の自治体の例を見ますと、毎年度、例えば令和6年度、令和7年度、令和8年度にこの事業でこのくらい使いますよというのが実施計画です。</p> <p>それをベースに毎年、予算査定というものがあって、具体的に確定した数値をつけるというのが大体他の自治体でも見られてるんです。実施計画と毎年度編成される予算との確認ですね。</p>
事務局	<p>総合計画のなかで大幅に修正がかかるようなところが見られますので、この場</p>

事務局	<p>で皆さんにご審議いただきたいと思います。</p> <p>内容につきましては、「基本目標 1.豊かな自然環境の保全と地域資源活用のサイクルを推進する」45 ページになります。「1.未来に残せる森づくり」があります。その次に「有害鳥獣対策」が出てきます。確かに有害鳥獣の対策ということで森林の保全と関係してきますが、ここはあくまでも自然環境の保全となりますので、森もしくは農地といった国土の保全と考えた方がよいのか、そのように見直しをして気づいたところもありまして、有害鳥獣対策を載せるのであれば、農林業に入れたほうが良いのではないかと考えましたが、皆さんのご意見をいただきたいなと思います。</p>
会長(穴戸委員)	<p>現在の案では、46 ページの「2.農作物への被害防止を図る」と47 ページ「3.狩猟者に対する～」にあります。これを農業分野の方に移行したい。具体的には61 ページ以降ですね、ということは今事務局で提示をしているところでございます。認定農業者会の齋藤さんいかがでしょうか。</p>
齋藤望委員	<p>有害鳥獣対策を61 ページ以降の農林水産業の振興のところに移行するという事であれば理解できます。</p>
会長(穴戸委員)	<p>齋藤委員からもご意見いただきましたので、事務局として適切のように検討してください。</p>
猪俣委員	<p>もし有害鳥獣対策を動かしたら、施策 1 が「未来に残す森づくり」だけになってしまいますが。</p>
事務局	<p>もう 1 つ田園風景景観とかですね、そういった施策の入れることを検討しております。</p>
会長(穴戸委員)	<p>基本施策 1 が「自然環境の保全と創出」になってますので、この枠内でのものを加えることはあり得る、あるいはネーミングを変えることあり得るってことですね。ご指摘ありがとうございました。</p> <p>全体を通じて、何か委員の皆様、ご指摘の点、ご意見あるいはご質問などございませんでしょうか。</p> <p>特段ないようでしたら、続きまして、3)パブリックコメントの状況について事務局から説明を願います。</p> <p>(事務局より資料 3 に基づき説明)</p>
会長(穴戸委員)	<p>ただ今パブリックコメントにつきまして報告まとめでございましたが、皆さんの方でご確認しておきたい件、ございますでしょうか。</p>

会長(宍戸委員)	<p>それでは私から、昨日時点で3名の方から14件御意見を頂戴しました。それに対して阿賀町として一般的にパブリックコメントとしてはどの様にお返ししていますか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントの対応状況につきましては、ホームページの方で皆様にお知らせしております。</p>
会長(宍戸委員)	<p>これは、本件の総合計画のみならず、他の計画についても阿賀町としてはパブリックコメントを実施したものについてはそのような公表方法なのでしょうか。</p>
事務局	<p>はい、その通りでございます。</p>
会長(宍戸委員)	<p>わかりました。ありがとうございます。  特段ご質問などないようございましたら、3)パブリックコメントの状況について終了させていただきたいと思えます。  それでは、以上で審議会に諮問されておりましたこの第3次総合計画案の作成にかかる審議はお開きという事になります。  本日の審議を踏まえました総合計画の修正、先ほどご指摘もいただいたことと  ございます。また、町長さんへの答申書の作成につきましては、大変恐縮でございますが、事務局と廣瀬副会長と私、宍戸に一任させていただきます。後日内容をお知らせするというやり方でよろしいでしょうか。  大変申し訳ございませんが議会との関係もあるということで、ちょっと急ぎということもございます。大変恐縮でございますが、そのようにさせていただきたく存じます。  ここから先は事務局に進行をお願いします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。今ほど宍戸会長からもお話がありました通り、第3次総合計画策定に係る審議会は本日で全て終了となります。  審議会の閉会にあたりまして、廣瀬副会長さんから一言ご挨拶をいただきたいと思えますので、廣瀬副会長、よろしく願いいたします。</p>
副会長 (廣瀬委員)	<p>長時間にわたりまして、大変お疲れ様でございました。  町が合併をして今年で21年目になります。昨年の8月に神田町長から第3次総合計画の諮問を受けまして、会を重ねること5回目になります。  皆様から貴重なご意見またご指摘等を賜りまして、立派な総合計画を練り上げ策定することができました。本当にありがとうございます。これから答申するわけでありませうけれども、その後また議会の承認を受けて、早速、第3次総合計画に基づいて予算立てをしながら町政をやっていく形になるわけでありませうので、これから町に抱えている問題、1つこの計画に基づいてやっていただければ</p>

<p>副会長 (廣瀬委員)</p>	<p>ばありがたいなと思っております。</p> <p>特に阿賀町は、人口の減少、また少子高齢化が県下でもナンバーワンでありますので、このことが本当に今大変な時代になってきているんだな、こんなことを私は常々感じてるところであります。</p> <p>できるだけみんなで知恵を出し合ってですね、安全で安心なまちづくりをしていきたいと思えます。この間、ほんと皆さんからありがたいご支援をいただきましたことを感謝申し上げて、この審議会を終わらせていただきます。本当にありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>本日も委員の皆様から貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>皆様からいただきましたご意見等を反映し、また文書の構成、順番の入れ替え等精査しまして、最終的な案を作成し、正副会長の方からご承認をいただいた後に皆様にお知らせしたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>この度の第3次総合計画の策定にあたりまして、今年度は審議会を5回、例年ですと3回でございますが、今年度につきましては5回開催させていただきました。また専門部会というような形で意見交換の方も設けさせていただきました。皆様から大変貴重なご意見をいただきましたこと、誠にありがとうございました。</p> <p>第3次総合計画は令和7年度からになりますので、町といたしましては、この総合計画に沿った内容でこの計画を推し進めるというような形で行政を進めてまいりますので、これからもよろしくお願いいたします。事務局より重ねて感謝を申し上げます。大変ありがとうございました。</p>
<p>会長(穴戸委員)</p>	<p>それでは、以上を持ちまして令和6年度第5回総合計画審議会を終了いたします。皆様ご協力をいただきましてありがとうございました。</p>